

花背小中学校「秋みつけ」

日 時：2019年10月15日（火）

場 所：京都市左京区花背八栞小学校跡から花背山村交流の森

天 候：曇り時々小雨

参加者：花背小学校1, 2年生 7名 先生2名 スタッフ3名

花背小中学校の駐車場で先生と子供たち7名とスタッフ3人と自己紹介とあいさつをして子供たちはスクールバスで廃校になった八栞小学校跡に。ここから秋みつけ自然観察スタートです。

「秋、と聞いて思いつくものは？」元気にいろいろ発言。

「秋を探してください。」の先生の言葉にいっせいに走り出した子供たち校庭だけでなく校庭につづく山の中へとどんどん入っていきます。それぞれ思いつくものを集めてきました。



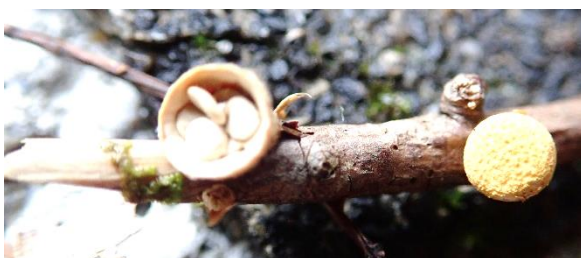
黄色く色づいた落ち葉、キノコ、ドングリ、マツボックリ、メタセコイヤの実、ショウリョウバッタ、など盛りだくさん。頭を突き合わせてみんなで集めたものを観察。

これだけでも自然が豊かなことが感じられます。さっそくキノコや木の実についての説明を真剣に聞いていました。



拾ってきたものを友達に紹介

「秋みつけ！」たくさん秋が見つかりました



ツネチャダイゴケ



フウセンタケの仲間



「校庭にあるメタセコイヤの高さはどれくらいだと思おう？」 自分の背の高さから大体何メートルあるか大まかな高さを知ることができました。

八柵小学校跡を出て山村交流の森を目指します。民家のところでは村の人たちを見かけるとみんな元気に「こんにちは！」元気です！

チャノキを発見。実ができていたので、実を道路でこすって「お猿の顔」を作りました。作業は大好き、先を急ごうと声掛けでやっと動き出しました。

神社に大きなイチョウがあり銀杏がたくさん落ちています。さっそく収穫タイム。足で器用に外側の果肉を取りナイロンの袋でつかんでたくさん収穫です。クルミの木のしたでは実を収穫。みんな秋にはどこの木にどんな実ができるか知っているのにびっくり。

自然の恵みをいただく、季節を感じながらの自然な動き。

山村交流の森では、コブシの実の形の面白さと糸でつながっているのを見たり、イロハモミジの説明を聞くとクルクル回りながら風に飛ばされていくのに夢中。葉っぱで笛をつくってピーピー、ブーブー大合唱。自然と遊ぶのがとっても上手な子供たちに驚き、子供のころに帰った気持ちで一緒に楽しみました。子どもたちに感謝です。

子供たちと一緒に作れたら楽しいかなと思っていたのですが、時間がなくてできなかったイチョウの葉っぱのちょうちょ。神社で拾った黄色く色づいたイチョウの葉と絵入りのプリントを先生にお渡ししたらみんなで作る時間をとっていただいたようでみんなのお手紙とともにいただきました。

(齋藤)



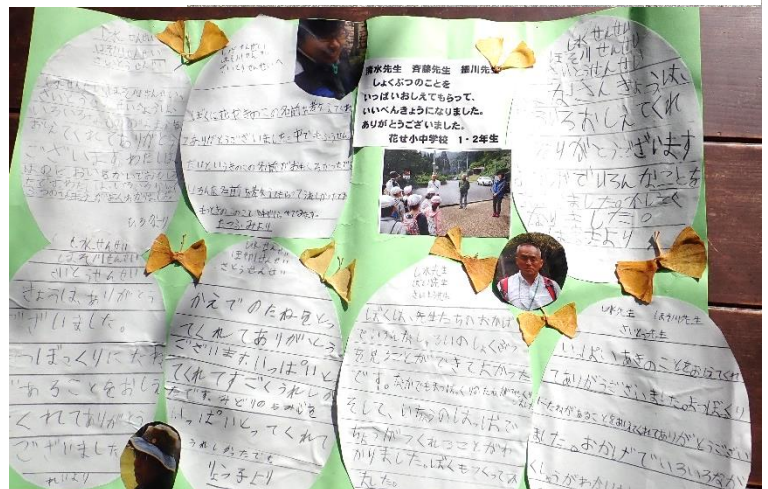
メタセコイヤの木は何メートルくらいかな



チャノキの実でお猿ができました 茶畑の記号をみんな忘れないよね。



モミジの種飛ばしに夢中！！



花脊からうれしいプレゼントをいただきました ありがとう！！